

いいね！ 琵琶湖に行こう — 船旅日和 —

-日本最大の湖-

日本最大の湖・琵琶湖は約 500 万年前に、地殻変動によってできた湖である。京阪神の水がめとして欠かせない存在となっており、琵琶湖水系の水で約 1400 万人が暮らしている。また、古くから水運がさかんで、北国からの物資を大阪や京都に運ぶ際に利用されてきた

✧異世界に誘う船「ミシガン」-琵琶湖汽船-

人間が琵琶湖に丸木舟を浮かべて約 6000 年がたった。この年月は人にとっては長い時間だが、琵琶湖にとっては一瞬の出来事。その一瞬の間に船の役割は大きく変化した。

鉄道が開通して後、鉄道連絡船が明治 22 年に廃止されると、琵琶湖の船会社は生き残りをかけて「湖上遊覧」にその活路を見出した。ミシガンに演出されたのは非日常的な空間(観光)、外国という、日本人にとって最も遠い「異世界」。琵琶湖の観光は、ここを訪れる人たちに、いかに「異世界」を提供するかの工夫を重ねてきた歴史といえそう。

✧カントリー調の船内

大津港でミシガンに乗船すると、最上階のデッキからテンポの良い音楽が流れ出す。船内は 1～3 階が客室、4 階に操舵室がある。船のコンセプトは 19 世紀のアメリカで、ツヤのある木目が基調として用いられ、カントリー調に仕上げられている。1・2 階はカフェとダイニングで、3 階はロイヤルルームとショーステージだ。ロイヤルルームはピンク色を基調としている。アメリカからの輸入家具が使用されており、可愛らしくも気品ある空間。デッキに出てみると、穏やかな湖上を走る風に心地よさを感じながら、湖畔の眺めを楽しむことができる。足元に小さな赤いハートマークを見つけた。これはミシガンが「恋人の聖地」に認定されたことに伴い、作られたという。船内にいくつか隠されているので、乗船した際に見つけることができればラッキーかも。1 階デッキ前方には「Lover's MICHIGAN」と書かれた大きなハートの「恋人の聖地」のモニュメントも設置されている。日本初の船上の「聖地」なので、記念撮影にはうってつけだろう。

✧大津を歩く

琵琶湖の南部に広がる大津は、宿場町(東海道)の名残をとどめ、古い歴史をもつ観光名所も多い。琵琶湖の水を京都へ運ぶ「琵琶湖疏水」、皇族や著名人が利用した「びわ湖大津館」、全国競技かるた大会が行われる「近江神宮」、大津市と対岸の守山市を結ぶ「琵琶湖大橋」がある。

✧近江神宮

近江神宮は第 38 代天智天皇をお祀りし、琵琶湖西岸の天智天皇の古都・近江大津宮跡に鎮座、近代神社建築の代表的なものとして、平成 10 年より国の登録文化財として登録されている。

近江神宮の御祭神天智天皇は、小倉百人一首の巻頭に御製を残され、そのゆかりによって近江神宮は「かるたの殿堂」と称され、競技かるたの日本一を競う「競技かるた名人位・クイーン位決定戦」をはじめ、競技かるたの大会が盛んに開催されている。近年、熱戦が繰りひろげられている「全国高等学校かるた選手権大会(夏季開催)」は、「かるたの甲子園」とも称され、コミックや映画でおなじみの「ちはやふる」の人気も後押ししている。

✧国宝・彦根城天守

国宝である彦根城天守は、関ヶ原合戦の前哨戦で耐え抜いた大津城から移築されたといわれ、政治的象徴のほか、城本来の機能である軍事面でも優れている。昭和 27 年に国宝に指定され、彦根城以外の国宝天守は、姫路・松本・犬山・松江がある。

「海員だより」